

一から学ぶ海ごみ講座 開催しました！



- 日時 令和元年7月21日（日）10：00～12：00
- 会場 東かがわ市引田安戸池
- 講師 NPO法人アーキペラゴ理事 森田 桂治 氏
アシスタントNPO法人アーキペラゴ 谷 光承 氏

7月21日（日）、東かがわ市引田安戸池にて、一から学ぶ海ごみ講座を開催し、小学生親子20名が受講しました。本講座は、海ごみの原因・現状・抱えている問題を知り、何ができるか、親子で考えることを通して海ごみや里海への関心を深めていただくことを目的とし、開催しました。

まずは、「体験学習館マーレリッコ」にて、本日の講師 森田氏より、スライドを交えて座学が行われました。グループごとに分かれて「海ごみはどこからやってくるのか?」「なぜごみは減らないのか」「減らすにはどうすれば良いか」など、質問に対してみんなで意見を出し合いました。



今回の講座には、香川大学生もアシスタントとして参加しており、小学生と一緒にディスカッションを行いました。ディスカッションの後、子供たちは積極的に手を挙げて発表し、意見を交換しました。

また、発泡スチロールとポップコーンを使って、動物がプラスチックなどのごみを誤食してしまう状況を体験したり、動物の体に網が絡まって動けない状況を体験するなど、「体で感じる」講義をしていただきました。



※動物がプラスチックなどのごみを誤食する状況を体験する様子



※動物の体に網が絡まって動けない状況を体験する様子

講座の後半は、海岸で拾ったお気に入りの海ごみやお宝で「海ごみ標本箱」を作ろうというテーマで行われました。実際に海岸に出てじっくり見渡すと、いろいろな漂着物が落ちていました。



お気に入りのものを拾った後は座学の会場に戻り、標本キットを使って製作作業に移りました。いつ、どこで拾った海ごみ（お宝）かを記載して、世界に一つだけの「海ごみ標本箱」をみんなで作りました。

講座を通して海ごみ問題について様々なことを学んだ子供たちからは「動物たちがこんなにゴミを誤って食べているなんて知らなかった」「海に遊びに行ったときはゴミを拾いたい」、保護者の方たちからは、「海ごみ問題はニュース等では知っていたけど子供と実践的に行えた事が良かった」などの声が上がりました。

